

研究開発及び生産・流通部会 における審議状況について

(第4回予防接種・ワクチン分科会以降)

厚生労働省 健康局結核感染症課 予防接種室

平成26年10月8日

第5回予防接種・ワクチン分科会

研究開発及び生産・流通部会委員名簿

所属は平成26年10月8日現在

伊藤	澄信	独立行政法人国立病院機構本部研究センター臨床研究統括部長
○庵原	俊昭	独立行政法人国立病院機構三重病院院長
小森	貴	公益社団法人日本医師会感染症危機管理対策担当常任理事
坂元	昇	全国衛生部長会副会長（川崎市健康福祉局医務監）
△西島	正弘	昭和薬科大学学長
福島	若葉	大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学准教授
細矢	光亮	福島県立医科大学小児科学講座教授
三村優美子		青山学院大学経営学部教授
森	康子	神戸大学大学院医学研究科臨床ウイルス学分野教授
山口	照英	国立医薬品食品衛生研究所客員研究員

※ ○が部会長、△が部会長代理

（50音順・敬称略）

研究開発及び生産・流通部会における審議状況について

第7回研究開発及び生産・流通部会（平成26年5月23日（金））

- 予防接種基本計画に記載されている開発優先度の高いワクチン等の開発状況について、ワクチン製造販売業者からヒアリングを実施した。
 - ・ 一般財団法人化学及血清療法研究所
（DPT-IPV-Hibワクチン、MMRワクチン、細胞培養インフルエンザワクチン）
 - ・ 武田薬品工業株式会社
（ノロウイルスワクチン、Hibワクチン、細胞培養インフルエンザワクチン）
- 厚生労働科学研究で実施しているワクチン開発に係る研究について、研究班から発表を行った。
 - ・ 新興再興感染症に対する経鼻ワクチンの開発・実用化に関する研究
（国立感染症研究所病理部 長谷川秀樹参考人）
 - ・ 粘膜免疫誘導型新規結核ワクチンの開発
（医薬基盤研究所霊長類医科研究センター 保富康宏参考人）
 - ・ 多剤耐性結核に対する新規治療用DNAワクチンの開発・実用化に関する研究
（国立病院機構近畿中央胸部疾患センター臨床研究センター 岡田全司参考人）
- 下記の事項について、報告を行った。
 - ・ 2014/15シーズンのインフルエンザワクチン株について
A/カリフォルニア/7/2009 (X-179A) (H1N1)pdm09
A/ニューヨーク/39/2012 (X-233A) (H3N2)
B/マサチューセッツ/2/2012(BX-51B)
 - ・ 2013/14シーズンの国内外のインフルエンザの流行状況報告
（国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター 小田切孝人参考人）
 - ・ 新型インフルエンザワクチン細胞培養事業第2次事業の追加公募の結果について
一般財団法人化学及血清療法研究所（1,700万人分）
武田薬品工業株式会社（800万人分）

研究開発及び生産・流通部会における審議状況について

第8回研究開発及び生産・流通部会（平成26年9月5日（金））

- 予防接種基本計画に記載されている開発優先度の高いワクチン等の開発状況について、ワクチン製造販売業者からヒアリングを実施した。
 - ・ 第一三共株式会社
（DPT-IPV-Hibワクチン、MMRワクチン、皮内投与型季節性インフルエンザワクチン、経鼻投与ワクチン、ノロウイルスワクチン、RSVワクチン、带状疱疹ワクチン）
- 厚生労働科学研究で実施しているワクチン開発に係る研究について、研究班から発表を行った。
 - ・ 新興・再興感染症に対する画期的な新規ワクチン開発および実用化に関する研究
（国立感染症研究所免疫部 阿戸学参考人）
- 新たなワクチンの開発にあたって、下記の方方向性が示された。
 - ①薬事審査に関する関係機関と相談の上、十分な免疫が得られると期待される範囲において、臨床試験でより少ない接種回数での有効性（代用される指標も含む。）についても評価することが望ましい。
 - ②既存のワクチンと同様の疾患を予防できるワクチンについては、可能な範囲で、既存のワクチンとの有効性に関する互換性（交差免疫や接種スケジュール等に関して）を評価することが望ましい。
- 下記の事項について、報告を行った。
 - ・ 季節性細胞培養インフルエンザワクチンの開発に向けた検討状況
（国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター第5室 山本典生参考人）